
夢国の姫

類えりか

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夢国の姫

【Nコード】

N9064B

【作者名】

類えりか

【あらすじ】

レイアは、周りの大人への反発心を強める。なぜ、押しつけるの?!。国のことが好きでありながら、なぜかうまくいかない。それに、誰にもいえない秘密を抱え、レイアは何を求めているのか？

第1話 いつもものよつた(前書き)

秘密や恋愛、友情、成長をテーマにしていきたいと思います！

第1話 いつものように

「疲れたわ」

そう言って、彼女は手にした本を閉じた。長く腰まである髪を手ではらい、正面をみつめる。「ですが、姫。まだお時間がありますわー」

彼女はすっと立ち上がり、扉を開けはなち、出ていった。

神官の口

ローゼは老いぼれた顔に、深い深い皺をよせた。大きな夕メ息がこだまする。「またか… いったいどうしたものか」

ローゼが姫付きの教師となつてから、早一週間、姫はいつもこんな調子だ。途中で出ていってしまう。「はあ…」

何度目かのため息をつき、ローゼは頭を抱え込んだ。

「まったく、なんな

のかしら、あの神官は！」 姫のレイアは憤懣やるかたない。本から何を学ぶことができるかゆーのか。みんな間違ってる。

「大人はいつもそうよ！頭に詰め込めばいいってものじゃないのよ」

レイアは白い頬をほんのり紅くそめ、地下牢

を歩いていた。今は使われていないその道は町の路地裏のさびれた家につながっている。手慣れた様子で歩きながら、ようやく明かりが見えてきた。

「みんないるかしら」

レイ

アは町の中央にある学舎にむかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9064b/>

夢国の姫

2011年1月19日22時00分発行